

FM/AM ミニディスクプレーヤー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書および「取り付けと接続」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書および「取り付けと接続」をよくお読みの上、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



MDLP

MDX-C500X



安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この取扱説明書および別冊の「取り付けと接続」の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- 運転者は走行中に操作をしない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、振動により配線がはずれていないか、接続部分が車体と接触していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、
煙が出たら



- ➡
- ① 安全な場所に車を止める
 - ② 電源を切る
 - ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口にて修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および「取り付けと接続」、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電



指挟み

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

目次

⚠ 警告・⚠ 注意	4
MDの取り扱い	6
はじめに	7
まず、本機をリセットする	8
MD・ラジオの聞きかた	10
各部のなまえ	12
カードリモコン (別売り) の操作 ..	14
時計を合わせる	15

CD・MD

CD/MDを聞く	16
繰り返し聞く (リピート再生)	20
曲順を変えて聞く (シャッフル再生)	21
ディスクに名前をつける (カスタムファイル —ディスクメモ)	22
CDの聞きたい曲だけを聞く (カスタムファイル—バンク) ...	24
ディスクを名前で探す (リスト)	26

ラジオ

放送局を自動で登録する	27
放送局を手動で登録する	30
放送局に名前をつける (ステーションメモ)	31
放送局を名前で探す (リスト)	33

サウンドの設定

快適な音で聞く (MBP)	34
重低音を強調する (D-BASS)	35
音のバランスや音質を設定する (バランス) (パス) (トレブル) (フェダー) (ATT) (ソースサウンドメモリー)	36

その他の操作

音や表示などの設定を換える	38
ロータリーコマンドー (別売り) の 操作	40
使用上のご注意	42
故障かな?	44
保証書とアフターサービス	48
主な仕様	49
索引	51



下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の取り付けには専門知識が必要です。

万一、ご自分で取り付けるときは、別冊の「取り付けと接続」の説明に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電の原因となります。

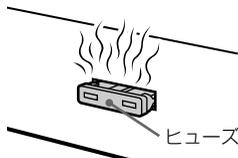


規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を越えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



禁止



内部に水や異物を落とさない

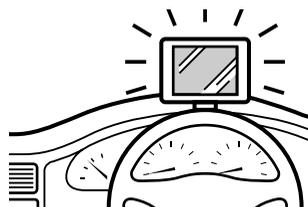
水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。



禁止



禁止



前方の視界を妨げる場所に、ディスプレイやモニターを取り付けない

前方の視界の妨げになると、事故やけがの原因となります。また、取り付ける場所が、助手席用エアバッグシステムの動作の妨げにならないことを確認してください。

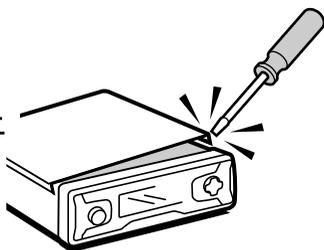
分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。

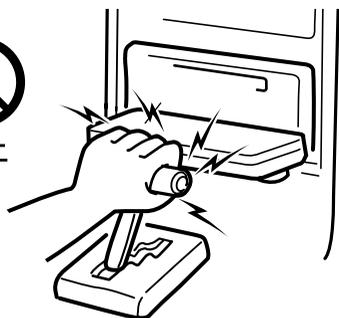
内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止



禁止





下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

ディスク挿入口に手を入れない

内部で手をはさまれ、けがの原因となることがあります。



指挟み

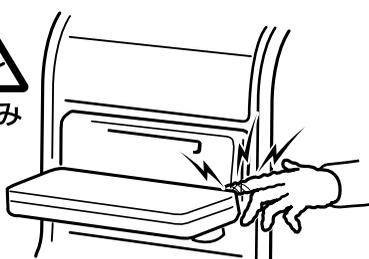


フロントパネルの開閉中は、手を近づけない

手をはさまれ、けがの原因となることがあります。



指挟み



ACCポジションのないお車のときは

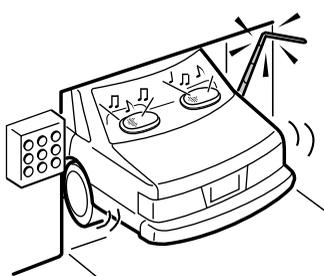
OFFボタンを2秒以上押し続けて時計表示を消してください。OFFボタンを短く押しただけでは時計表示が消えず、バッテリーあがりの原因となります。

アンテナの高さより低い場所（駐車場や洗車機など）へ入るときはラジオを止める

ラジオの動作中はパワーアンテナが自動的に上がります。低い場所へ入るときは、必ずラジオ以外のソースに切り換えるか、OFFボタンを押してアンテナが下がったことを確認してください。



禁止



MDの取り扱い

MD自体はカートリッジに収納されていますので、ゴミや指紋を気にせず手軽に取り扱えるようになっています。ただし、カートリッジのよこれやそりなどが、誤動作の原因になることもあります。いつも美しい音で楽しめるように次のことにご注意ください。

良い音で聞くために

車内でカップホルダーなどをお使いになるときは、不意の振動などでジュースなどがこぼれて、MDソフトにかけられないように十分ご注意ください。そのままMDを再生すると故障の原因になります。



MD内部に直接触れない

シャッターを手であけないでください。無理にあけるとこわれます。本機から取り出したときなどに万一シャッターが開いてしまった場合は、すぐに閉めてください。



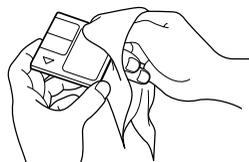
保存

直射日光が当たるところなど高温の場所、湿度の高いところには置かないでください。特に夏季、直射日光下で窓を閉め切った車のシート、ダッシュボードの上などはかなりの高温になりますので、絶対に放置しないでください。



お手入れ

カートリッジ表面についたホコリやゴミなどを乾いた布でふき取ってください。



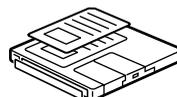
ラベルを貼るときのご注意

ラベルは、カートリッジに正しく貼られていないと、MDが本機から取り出せなくなることがあります。

- 指定の場所に貼ってください。



- 重ねて貼らないでください。



- ラベルがめくれたり、浮いているときは新しいラベルに貼り換えてください。



はじめに

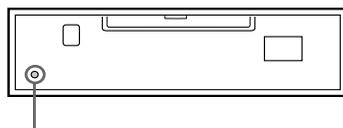
- 本機はMDとラジオに対応。
- 長時間録音したMDを再生できるMDLP機能搭載。
 - MDLP録音したMDを再生するときは、ソニー製MDLP対応機器をお使いください。MDLP未対応のMDチェンジャーなどで再生することはできません。
- 前後、左右のスピーカーのバランスを調節することにより、快適な音空間を実現するMBP（マイベストサウンドポジション）機能搭載。
- クリアで力強い低音をスイッチひとつで増強できるD-BASS（ダイナミックベース）機能搭載。
- 運転感覚で操作できるロータリーコマンダー（別売り）に対応。

この取扱説明書では、本機の使いかたの他に、別売りのカードリモコンおよびロータリーコマンダー、ソニー製CD/MDチェンジャーを接続した場合の操作方法についても説明しています。

まず、本機をリセットする

初めて使うときや、自動車のバッテリーを交換したとき、接続を変えたときは、リセットボタンを押す必要があります。

まずフロントパネルを取り外し、リセットボタンをつま楊枝の先などで押してください。ただし、針のような物で強く押すと故障の原因となります。



リセットボタン

ご注意

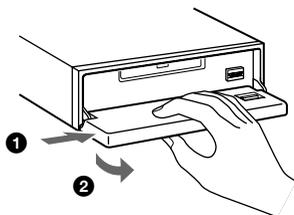
- リセットボタンを押すと、時刻などの登録した内容が消えることがあります。その場合は、登録し直してください。
- リセットボタンを押してから約10秒間、本機は初期設定動作を行います。その間にMDを入れると正常にリセットされないことがありますので、初期設定動作中はMDを入れないでください。
- リセットボタンを押したり、OFFボタンを押すと、自動的にデモンストレーションが表示されます。デモンストレーションを表示したくない場合は、M.DSPL（モーションディスプレイ）をOFFにしてください。（38～39ページ）

フロントパネルについて

本機のフロントパネルは取り外すことができます。

取り外しかた

必ず、OFFボタンを押して電源を切ってから、OPENボタンを押してフロントパネルを開けてください。フロントパネルを右に押しながら手前に引くと外れます。

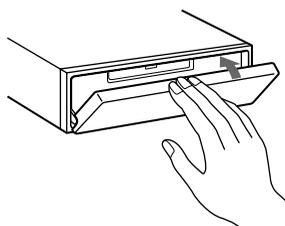
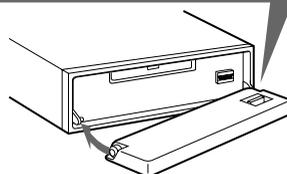
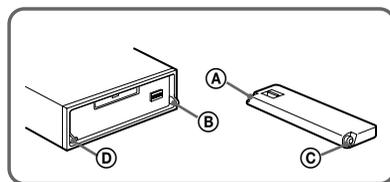


⚠ 注意

- 取り外したフロントパネルは直射日光の当たる高温のところ、湿度の高いところなどには置かないでください。
- フロントパネルの表示窓や挿入口の上を押したり、強い力をあたえないでください。
- フロントパネルを取り外して保管するときは、必ずケース（付属）に入れてください。

取り付けかた

フロントパネルの④部分と本体の③部分を合わせて、フロントパネルを押し込み、フロントパネルの①部分と本体の②部分を合わせて取り付けます。



MD・ラジオの聞きかた

MDを聞く

1 パネルを開ける

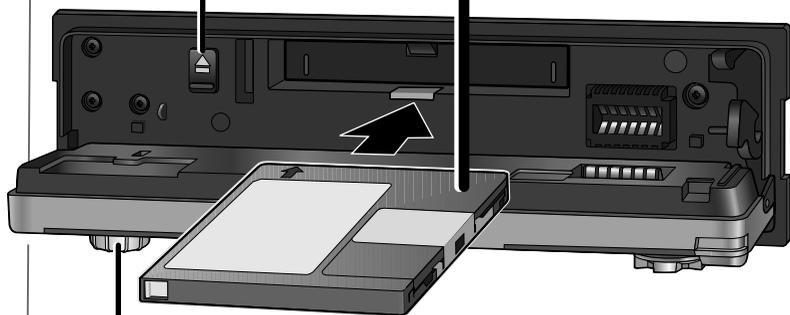
OPENボタンを押します。



2 MDを入れる

ラベル面を上にして入れます。
自動的に再生が始まります。

MDを取り出す



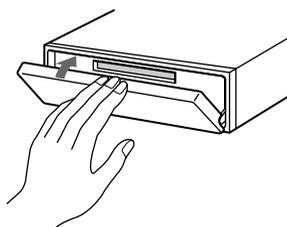
音量を調節する

ディスクが入っているときは
SOURCEボタンを押して「MD」表示に
すると再生が始まります。

表示を切り換えるには
DISPLAYボタンを押します。

止める／電源を切るには
OFFボタンを押します。

3 パネルを手で閉める



聞きたいところを探す(手動サーチ)

SEEK/AMSボタンを押し続け、聞きたいと
ころで離します。

前に戻す



先に進める

曲の頭出しをする

(自動選曲センサー(AMS))

SEEK/AMSボタンをとばしたい曲の数だけ
短く押します。

曲の頭や前
の曲へ戻す



次の曲へ進む

ラジオを聞く

1 ラジオ受信にする

音量を調節する

2 聞きたいバンドを選ぶ

押すごとに
FM1 → FM2 → AM1 → AM2
と切り換わります。

3 聞きたい放送局を選ぶ

数字ボタンに登録してあるときに選ぶことができます。

くわしくは27～30ページをご覧ください。

電源を切る

自動選局で受信する(自動選局)

SEEK/AMSボタンを聞きたい放送局を受信するまで繰り返し短く押します。

前の放送局
を探す



次の放送局
を探す

希望の放送局を受信する(手動選局)

SEEK/AMSボタンを押し続け、聞きたい放送局の周波数になったところで離します。

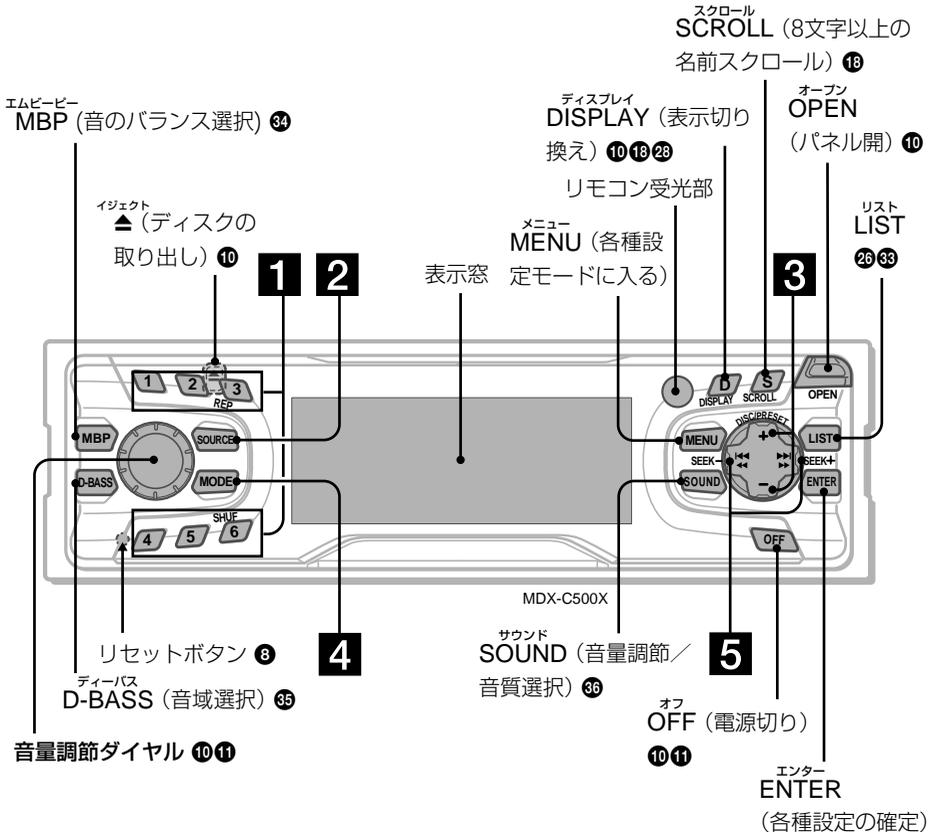
低い周波数の
放送局を探す



高い周波数の
放送局を探す

各部のなまえ

くわしい説明は●内のページをご覧ください。



ACCポジションのないお車のときは、OFFボタンを2秒以上押し続けて時計表示を消してください。OFFボタンを短く押しただけでは時計表示が消えず、バッテリーあがりの原因となります。

1 数字 (1~6) ボタン

ラジオ 放送局の登録/選択
⑪ ⑲ ⑳

CD/MD 3: REPボタン ㉔
6: SHUFボタン ㉕

2 ソース SOURCE (ラジオ/CD/MD切り換え)

⑩ ⑯ ㉒ ㉓

3 ディスクプリセット DISC/PRESET (プリセットサーチ/ディスク選択/メニュー項目選択)

ラジオ 登録した局の選局 ㉗ ㉘

CD/MD ディスクの選択 ⑰
(チェンジャー接続時)

メニュー項目選択時に2秒以上押し続けると、メニュー項目のカテゴリーをスキップすることができます。

4 モード MODE

ラジオ FM1/FM2/AM1/AM2の切り換え ⑪ ㉗ ㉘

CD/MD* CD/MD機器の選択 ⑯

5 シーク/エーエムエス SEEK/AMS (頭出し/ラジオ選局/設定項目選択)

	A	B
ラジオ	周波数の低い放送局へ (押し続ける) ㉙ ㉚	周波数の高い放送局へ (押し続ける) ㉙ ㉚

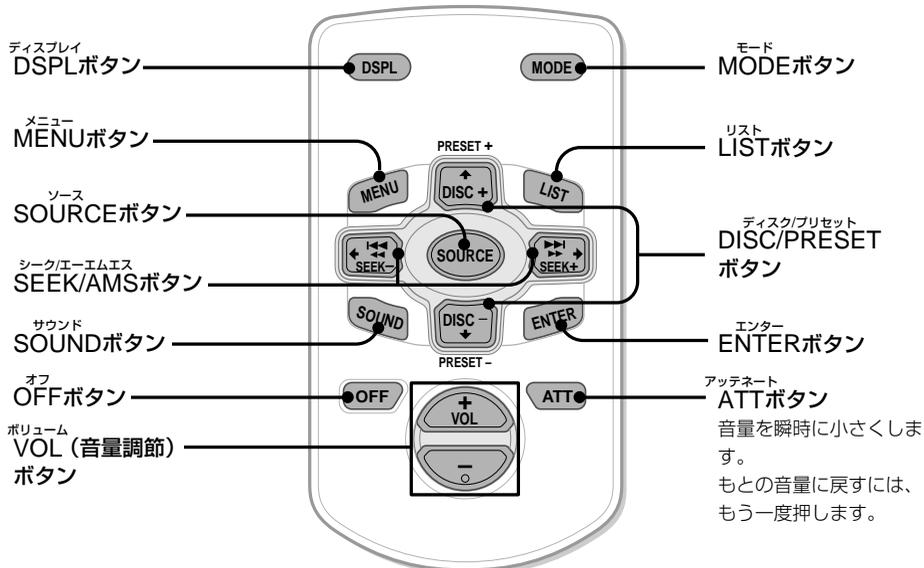
CD/MD	前の曲へ 早戻し (押し続ける) ⑰ ㉔	次の曲へ 早送り (押し続ける) ⑰ ㉔
-------	----------------------	----------------------

* 別売りの機器 (ソニー製) が接続されているとき

カードリモコン（別売り）の操作

本体のボタンと同じ操作は、カードリモコン（別売り）で行うことができます。

安全のため、カードリモコンの操作は運転者以外の同乗者が行うか、車を安全な所に止めてから行ってください。



RM-X114

ご注意

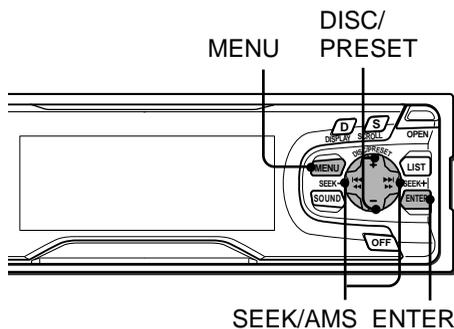
本体またはカードリモコンのOFFボタンを2秒以上押し続けて時計表示を消してある場合は、カードリモコンで本機を操作できません。操作できるようにするためには、一度本体でラジオを受信するなどの操作を行ってからお使いください。

ちょっと一言

リチウム電池の交換のしかたについては「使用上のご注意」(43ページ)をご覧ください。

時計を合わせる

本機は12時間表示です。



ご注意

ACCポジションのないお車のときは、SOURCEボタンを押すかディスクを挿入して本機の電源を入れてから、時計を設定してください。

ちょっと一言

D.INFO機能を「ON」に設定すると、再生中や受信中は常時時計が表示されます(38~39ページ)。

1 MENUボタンを押す。

2 DISC/PRESETボタンの+または-を押して「CLOCK」を選ぶ。



3 ENTERボタンを押す。



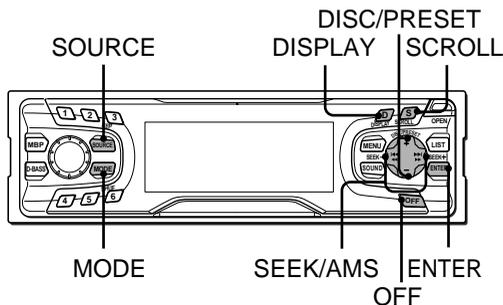
- 1** DISC/PRESETボタンの+または-を押して「時」を合わせます。
- 2** SEEK/AMSボタンの+側を押して「分」の位置に移動し、DISC/PRESETボタンの+または-を押して「分」を合わせます。
DISC/PRESETボタンの+側を押すと数値が進み、DISC/PRESETボタンの-側を押すと数値が戻ります。

4 設定後、ENTERボタンを押す。

設定時刻が登録され、通常の画面に戻ります。

CD/MDを聞く

本機の他に別売りのソニー製CD/MD機器を接続して、CDやMDを再生できます。CD TEXT対応のCD機器にてCD TEXTディスクを再生中に、その文字情報（アルバム名、アーティスト名、曲名など）を表示することができます。



CD TEXTとは

アルバム名、アーティスト名、曲名などの文字情報を記録した音楽CDの呼称です。

*1 別売りのソニー製CD/MD機器が接続されている場合のみ表示します。

*2 別売りのソニー製CD/MDチェンジャーが接続されていて、チェンジャー内のディスクを再生中の場合のみ表示します。

ご注意

MDLP録音したMDを再生するときは、本機またはソニー製MDLP対応機器をお使いください。MDLP未対応のMDチェンジャーなどで再生することはできません。

ちょっと一言

ディスクの最後まで再生すると、最初の曲に戻ります。別売りのCD/MD機器を接続している場合は、同じソースのCD/MD機器内の次のディスクを再生しません。

聞きたい機器を選ぶ

- 1 SOURCEボタンを繰り返し押し、[MD]または[CD]を選ぶ。

CD/MDユニット番号*1



ディスク番号*2 トラック番号 演奏時間

- 2 再生中にMODEボタンを繰り返し押し、聞きたいCD/MD機器（本機または別売りのソニー製CD/MD機器）を選ぶ。

MDの場合

MD1 (本機) → MD2 (MD機器1) *1 →
MD3 (MD機器2) *1

CDの場合*1

CD1 (CD機器1) → CD2 (CD機器2) →
CD3 (CD機器3)

再生をやめるには

別のソースに切り換えるか、OFFボタンを押します。

CD/MDチェンジャー内の聞きたいディスクを選ぶには

CD/MDチェンジャー内のディスクを再生中にDISC/PRESETボタンの+または-を繰り返し押し。

次のディスクまたは前のディスクに1枚ずつ切り換わります。

聞きたい曲を選ぶには

再生中にSEEK/AMSボタンの+または-を繰り返し押し。

次の曲または前の曲に1曲ずつ切り換わります。

曲の聞きたいところにするには

再生中にSEEK/AMSボタンの+または-を押し続けて、聞きたいところで離す。

ディスクの先頭または終わりに来ると

「 」または「 」が表示され、それ以上前または先に進めることはできません。

MG-MSシステムアッププレーヤー MGS-X1 (別売り) を再生するには

- 1 SOURCEボタンを押して「MD」を選ぶ。
- 2 MODEボタンを押してMGS-X1を接続したMD機器の番号*1を選ぶ。

MGS-X1をMD2に接続した場合

MD1 (本機) → MD2 (MGS-X1) →
MD3 (MD機器3) *2 → … → MD1 →

*1 本機はMGS-X1を「MD」として認識します。

*2 別売りのソニー製MD機器が接続されている場合のみ表示します。

CD/MDを聞く(つづき)

ちょっと一言

- 本機ではMDやCD TEXTに記録されているディスク/アーティスト名や曲名などはアルファベットと数字、記号のみ表示できます。
- 漢字、ひらがなのみ入力されたMDを再生した場合は「NO NAME」と表示されます。
- CD TEXTに記録されていても、曲ごとのアーティスト名は表示されません。
- 「オートスクロールの設定」(19ページ)で「A.SCRLON」にしておくと、ディスクや曲が変わったときに自動的にスクロール表示させることができます。

ご注意

- CDチェンジャー内のCDの曲名を表示することができるのはCD TEXT対応機種でCD TEXTディスク再生時のみです。
- CD TEXTで極端に文字数が多く入っている場合、すべての文字を表示しなかったりスクロールしないことがあります。

表示窓の見かた

再生中にDISPLAYボタンを繰り返し押して、表示を切り換えます。

CD TEXT対応ディスクの再生の場合



ディスク名/
アーティスト名*1*2



曲名*3 (MDと
CD TEXTのみ)



曲番号と
再生経過時間

- *1 ディスク名がついていないときは「NO NAME」と一瞬表示された後、再生経過時間表示になります。
- *2 CD TEXTにディスクメモ機能(22ページ)で名前をつけてあるときは、ディスクメモの名前を表示します。
- *3 曲名がついていないときは「NO NAME」と一瞬表示された後、再生経過時間表示になります。

MDLP表示について

録音モードにより、MD再生時の表示が換わります。



LP2 : LP2ステレオ再生時
LP4 : LP4ステレオ再生時

長い名前(8文字以上)を見るには

MDまたはCD TEXTの再生中に、SCROLLボタンを押します。

ご注意

- 曲名のオートスクロールは、DISPLAYボタンを押して曲名表示にしているときだけです。
- ディスク名のオートスクロールは、DISPLAYボタンを押してディスク名表示にしているときだけです。

オートスクロールの設定

MDまたはCD TEXT対応CDを再生している場合は、ディスクまたは曲が切り換わったとき、SOURCEをMDまたはCDにしたときに、この設定を「ON」にしておくと8文字以上のディスク名および曲名を自動的にスクロール表示させることができます。

1 CDまたはMDの再生中にMENUボタンを押す。

2 DISC/PRESETボタンの+または-を押して「A.SCRL」を選ぶ。



3 SEEK/AMSボタンの+側を押して「A.SCRL-ON」を選ぶ。

4 ENTERボタンを押す。

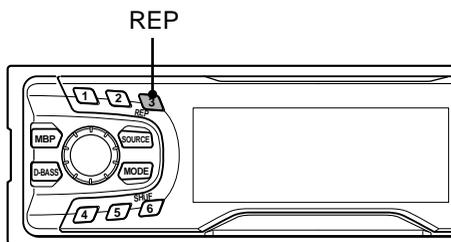
通常の画面が表示されます。

オートスクロールを解除するには
手順3で「A.SCRL-OFF」を選びます。

繰り返し聞く

(リピート再生)

再生中の曲のみ、またはディスク内の全曲を繰り返し聞くことができます。



MDまたはCDを再生中にREPボタンを繰り返し押して、再生モードを選ぶ。

REPボタンを押すごとに、表示は次のように切り換わります。



- 1曲のみ繰り返す 「REP-1」にする。
- 再生しているディスクを繰り返す
..... 「REP-2」*にする。

* ソニー製CD/MDチェンジャー接続時のみ表示されます。

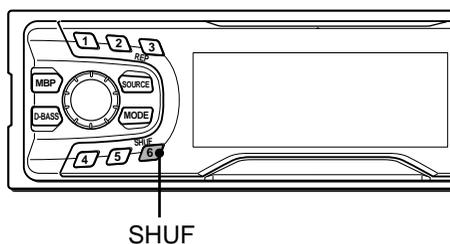
リピート再生をやめるには

REPボタンを繰り返し押して「REP-OFF」を選びます。

曲順を変えて 聞く

(シャッフル再生)

再生中のディスク内の全曲、またはチェンジャー内の全ディスクの曲順を変えて聞くことができます。



ご注意

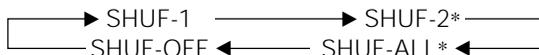
「SHUF-ALL」でCDとMDを混ぜてシャッフル再生することはできません。

ちょっと一言

「SHUF-2」「SHUF-ALL」では、同じ曲が2度以上再生されることがあります。

MDまたはCDの再生中にSHUFボタンを繰り返し押して、再生モードを選ぶ。

SHUFボタンを押すごとに、表示は次のように切り換わります。



- 再生しているディスクの全曲を順不同に再生するには 「SHUF-1」にする。
 - 再生しているチェンジャー内の全ディスクを順不同に再生するには 「SHUF-2」*にする。
 - 再生しているソース (MDまたはCD) のすべての機器の全ディスクを順不同に再生するには 「SHUF-ALL」*にする。
- * ソニー製CD/MDチェンジャー接続時のみ表示されます。

シャッフル再生をやめるには

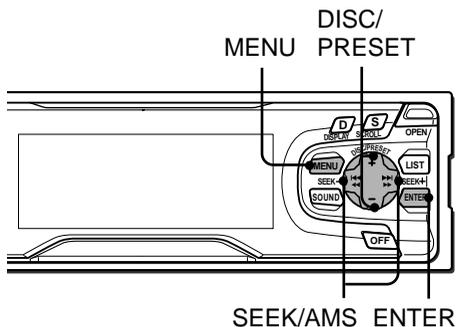
SHUFボタンを押して「SHUF-OFF」選びます。

ディスクに名前をつける

(カスタムファイル —ディスクメモ)

カスタムファイルとは？

CDソフトのタイトル名を登録・表示する機能です。別売りのカスタムファイル対応のソニー製CDチェンジャーを接続すると、CDに8文字までの名前をつけられ、ディスクメモ、バンク、リスト機能を楽しむことができます。



ご注意

CDの名前は、カスタムファイル対応のCDチェンジャーに登録されます。カスタムファイル非対応のCDチェンジャーを接続した場合、ディスクメモ、バンク、リスト機能は操作することはできません。

ちょっと一言

- DISC/PRESETボタンの+側を押すことに
A → B → C → ... Z →
0 → 1 → 2 → ... 9 → +
→ - → * → / → \ →
> → < → . → _
と変わります。
DISC/PRESETボタンの-側を押すと、逆順に表示されます。
- アルファベットの小文字とカナは使用できません。
- 文字をあげたいときは、「_」を入力します。
- 文字入力を間違えたときは、SEEK/AMSボタンの-側を押して修正したい文字を点滅させ、正しい文字を入れ直します。
- 手順2、3、4の代わりにLISTボタンを2秒以上押し続けてもディスクメモ入力モードになります。また手順6の代わりにLISTボタンを2秒以上押し続けても通常の画面に戻ります。

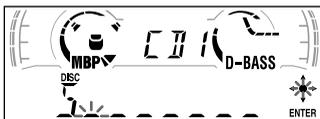
- 名前をつけたいCDを再生する。
- MENUボタンを押す。
- DISC/PRESETボタンの+または-を押して「NAMEEDIT」を選ぶ。



- ENTERボタンを押す。



- DISC/PRESETボタンの+または-を押して入力する文字を選び、SEEK/AMSボタンの+側を押して次の文字に移動させる。



スペースを入れたいときは、続けてSEEK/AMSボタンの+側を押します。

- 手順5を繰り返して、名前を入力し終わったらENTERボタンを押す。

通常の画面が表示されます。

ご注意

- 手順4では、CDチェンジャーのメモリーに保存されているすべてのディスクの名前が表示されます。
- 名前の消去は、名前が登録されているCDチェンジャーでCDを再生しないとできません。
- 「名前を消去するには」で消したい名前が見つからないときは、他のCDチェンジャーでCDを再生してください。

ちょっと一言

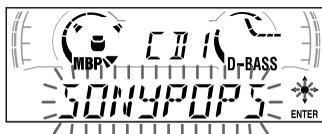
「ディスクに名前をつける」(22ページ)の手順5で、すべての文字に「」を入力して名前を消すこともできます。

名前を消去するには

- 1 CDチェンジャー内のCDを再生中にMENUボタンを押す。
- 2 DISC/PRESETボタンの+または-を押して「NAME DEL」を選ぶ。



- 3 ENTERボタンを押す。
- 4 DISC/PRESETボタンの+または-を押して消去するディスクの名前を選ぶ。



- 5 ENTERボタンを2秒以上押す。

選択したディスクの名前が消去されます。

ほかのディスクの名前を消すときは手順4~5を繰り返します。

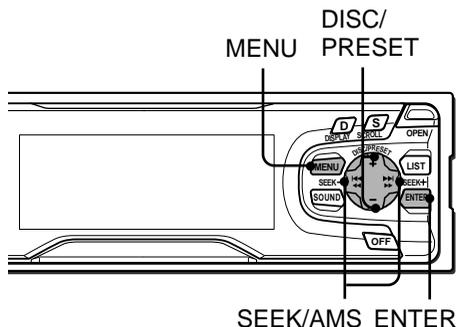
- 6 MENUボタンを2回押す。

通常の画面が表示されます。

CDの聞きたい曲だけを聞く

(カスタムファイルバンク)

聞きたくない曲をとばして、お気に入りの曲だけを再生します。この機能を使えるのは、別売りのソニー製CD機器を接続してディスクメモ機能(22ページ)で名前をつけたCDのみです。



ご注意

- 「SKIP」の設定は1枚のCDで24曲目までできます。
- 「SKIP」を全曲に設定して、ディスクを丸ごととばすことはできません。

ちょっと一言

名前をつけていないCDを再生中に「BANK SEL」を選びENTERボタンを押すと、「NO NAME」と表示されます。

とばす曲を指定する

- 1 名前をつけたCDを再生する。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 DISC/PRESETボタンの+または-を押して「BANK SEL」を選ぶ。



- 4 ENTERボタンを押す。



- 5 SEEK/AMSボタンの+または-を押してとばしたい曲の番号を表示させて、ENTERボタンを押す。



表示が「PLAY」(再生する)から「SKIP」(とばす)に変わります。「PLAY」に戻すときは、もう1度ENTERボタンを押します。

6 手順5を繰り返して、とばす曲全部に「SKIP」を設定する。

7 MENUボタンを2回押す。

通常の画面が表示されます。

曲をとばしながら聞く

1 CDを再生中にMENUボタンを押す。

2 DISC/PRESETボタンの+または-を押して「BANK」を選ぶ。



3 SEEK/AMSボタンの+側を繰り返し押して、再生のしかたを選ぶ。

押すごとに、表示は次のように切り換わります。



「PLAY」(再生する)を設定した曲だけ再生する
..... 「BANK-ON」にする。

「SKIP」(とばす)を設定した曲だけ再生する
..... 「BANK-INV」にする。

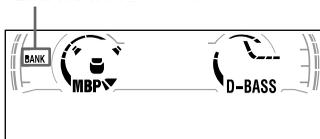
バンク再生をやめるには

手順3で「BANK-OFF」を選びます。

表示について

BANK再生中は、次のように表示します。

「BANK-ON」：点灯
「BANK-INV」：点滅



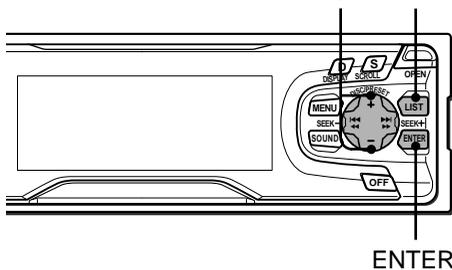
ディスクを名前 で探す (リスト)

次の場合に名前を見ながら好きなディスクを選ぶことができます。

- 別売りのソニー製MDチェンジャーで名前
の記録されているMDを再生する場合
- 別売りのCD TEXT対応ソニー製CDチェ
ンジャーでCD TEXTディスクを再生する
場合
- 別売りのカスタムファイル対応ソニー製
CDチェンジャーでCDを再生する場合*

* CDについてはディスクメモ機能 (22ページ) で
名前をつけてからこの機能をお使いください。

DISC/PRESET LIST



ご注意

- ディスク名のリスト画面には、次の表示が出る場合があります。
 - 「NO DISC」: ディスクが入っていない。
 - 「NO NAME」:
 - 名前をつけていない。
 - CD TEXT対応の機器でCD TEXTでないCDを再生したとき。
 - 「NOT READ」: ディスク情報を読み込んでいない。
- CD TEXTで極端に文字数が多く入っている場合、すべての文字を表示しないことがあります。
- ロータリーコマンダー (別売り) では操作できません。

ちょっと一言

選択をキャンセルするには
LISTボタンを押します。

1 CD/MDチェンジャー内のディスクを再生中に LISTボタンを押す。

ディスク名のリストが表示されます。



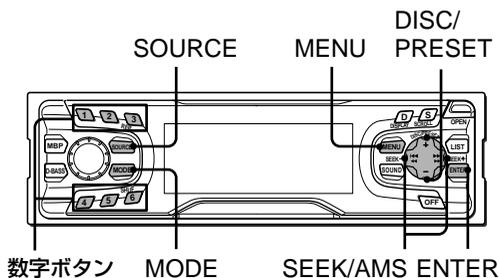
2 DISC/PRESETボタンの+または-を押して聞 きたいディスク名を表示させる。

3 ENTERボタンを押す。

再生が始まります。

放送局を自動で登録する

受信状態の良い放送局を自動的に登録することができます。「FM1」、「FM2」、「AM1」、「AM2」のそれぞれに6局ずつ、合わせてFM、AM各12局ずつ登録できます。



ちょっと一言

手順2でMODEボタンを押すごとに
FM1 → FM2 → AM1 →
AM2 → FM1
と切り換わります。

ご注意

- 放送局の数が少ない場合や電波が弱いときは、登録されないことがあります。
- 表示窓に登録番号が表示されていたときは、それ以降のプリセットチャンネルに放送局が登録されます。

- 1 SOURCEボタンを押してラジオ受信にする。
- 2 MODEボタンを押して登録したい放送局のバンドに切り換える。
- 3 MENUボタンを押す。
- 4 DISC/PRESETボタンの+または-を繰り返し押し、「BTM」を選ぶ。



- 5 ENTERボタンを押す。

「BTM」(ベストチューニングメモリー) が点灯表示され、選んだバンドの中で受信状態の良い放送局が周波数の順に登録されます。

登録が終ると通常の表示に戻ります。

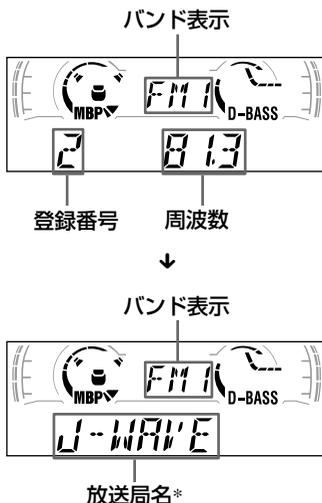
登録した放送局を聞くには

ラジオ受信中に数字ボタン、DISC/PRESETボタンの+または-を押して聞きたい放送局を選ぶ。

放送局を自動で登録する(つづき)

表示窓の見かた

ラジオ受信中にDISPLAYボタンを繰り返し押し表示を切り換えます。



* 名前がついている場合のみ表示されます。名前の登録のしかたについてくわしくは、31ページをご覧ください。

ちょっと一言

- SEEK/AMSボタンの+または-を押し続けて聞きたい放送局の周波数に近付いたところで、一度指を離します。さらに繰り返し短く押していくと0.1MHz(または9kHz)ごとに送れます。

旅先などで、登録した放送局が受信できないときは

ラジオ受信中にSEEK/AMSボタンの+または-を押して離します。

自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。聞きたい放送局が受信できるまで繰り返します。

- 聞きたい放送局がわかっているときは、その放送局の周波数になるまでSEEK/AMSボタンの+または-を押し続けます。
- 自動選局がたびたび止まってしまうときは、ローカル受信にすると、比較的電波の強い放送局だけを受信します。
 - 1 ラジオ受信中に、MENUボタンを押す。
 - 2 DISC/PRESETボタンの+または-を繰り返し押し、「LOCAL」を表示させる。
 - 3 SEEK/AMSボタンの+側を押して「LOCAL-ON」を選び、ENTERボタンを押す。

ふつうの受信に戻すには

手順3で「LOCAL-OFF」を選びます。

ステレオ放送が聞きにくいとき

ステレオ放送が聞きにくいときは、音をモノラルにすると聞きやすくなります。

- 1 FM受信中に、MENUボタンを押す。
- 2 DISC/PRESETボタンの+または-を繰り返し押し、
「MONO」を表示させる。
- 3 SEEK/AMSボタンの+側を押し「MONO-ON」を選び、ENTERボタンを押す。

ふつうの受信に戻すには

手順3で「MONO-OFF」を選びます。

ご注意

IF AUTOモードを「WIDE」にして、雑音が入って聞きにくい場合は、「IF AUTO」に戻してください。

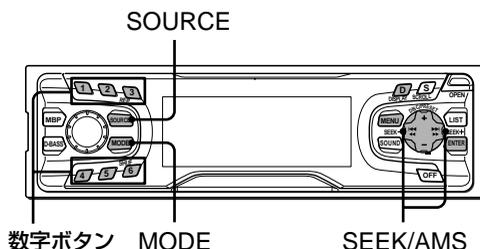
受信周波数を自動的に調整する (IF AUTOモード)

FM受信中、受信している周波数の近くに他の放送局があると、他の放送局の混信による雑音で放送が聞きにくくなる場合があります。この場合「IF AUTO」に設定すると、受信する周波数帯域幅を自動的にせばめて放送を聞きやすくします。このためステレオ放送がモノラルになることがあります。このような場合でもIF AUTOモードを「WIDE」に固定するとステレオで聞くことができます。

- 1 FM受信中に、MENUボタンを押す。
- 2 DISC/PRESETボタンを繰り返し押し、「IF AUTO」を表示させる。
- 3 SEEK/AMSボタンの+側を繰り返し押し、「IF WIDE」を表示させる。
- 4 ENTERボタンを押す。

放送局を手動で登録する

お好みの放送局を手動で登録することができます。



ご注意

すでに登録してある数字ボタンに同じバンドの他の放送局を登録すると、前の放送局は消えてしまいます。

ちょっと一言

- 手順2でMODEボタンを押すごとに
FM1 → FM2 → AM1 → AM2 → FM1
と切り換わります。
- SEEK/AMSボタンの+または-を押しながら聞きたい放送局の周波数に近づいたところで、一度指を離します。さらに繰り返し短く押していくと0.1MHz (または9kHz) ごとに送れます。
- 「FM1」、「FM2」、「AM1」および「AM2」のそれぞれに6局ずつ、合わせてFM、AM各12局ずつ設定できます。

- 1 SOURCEボタンを押してラジオ受信にする。
- 2 MODEボタンを押して登録したい放送局のバンドに切り換える。
- 3
 - A 聞きたい放送局の周波数がわかっているとき
その放送局の周波数になるまで、SEEK/AMSボタンの+または-を押し続ける。
 - B 聞きたい放送局の周波数がわからないとき
SEEK/AMSボタンの+または-を押して離す。
自動的に放送局を探し始め、受信すると止まります。
聞きたい放送局が受信できるまで繰り返します。



- 4 登録したい数字ボタンを「MEM」が表示されるまで2秒以上押し続ける。

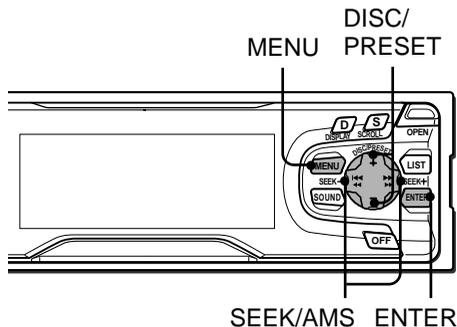


押した数字ボタンの番号が表示され、そのボタンに選んだ放送局が登録されます。

放送局に名前をつける

(ステーションメモ)

放送局に名前をつけると、受信中にその名前を表示することができます。最大62の放送局に、それぞれ8文字までの名前をつけられます。



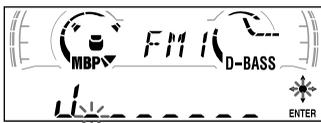
ちょっと一言

- DISC/PRESETボタンの+側を押すごとに
A → B → C → ...Z →
0 → 1 → 2 → ...9 →
+ → - → * → / →
\ → } → < → . → _
と変わります。
DISC/PRESETボタンの-側を押すと、逆順に表示されます。
- アルファベットの小文字とカナは使用できません。
- 文字を空けたいときは、「_」を入力します。
- 文字入力を間違えたときは、SEEK/AMSボタンの-側を押して修正したい文字を点滅させ、正しい文字を入れ直します。
- 手順2、3、4の代わりにLISTボタンを2秒以上押し続けてもステーションメモ入力モードになります。また手順6の代わりにLISTボタンを2秒以上押し続けても通常の画面に戻ります。

- 名前をつけたい放送局を受信する。
- MENUボタンを押す。
- DISC/PRESETボタンの+または-を繰り返し押し、「NAMEEDIT」を選ぶ。



- ENTERボタンを押す。
- DISC/PRESETボタンの+または-を繰り返し押し、挿入する文字を選び、SEEK/AMSボタンの+側を押して次の文字に移動させる。



スペースを入れたいときは、続けてSEEK/AMSボタンの+側を押します。

- 手順5を繰り返して、名前を入力し終えたらENTERボタンを押す。

通常の画面が表示されます。

放送局に名前をつける (つづき)

ちょっと一言

「放送局に名前をつける」(31ページ)の手順5で、すべての文字に「_」を入力して名前を消すこともできます。

放送局の名前を消去する

- 1 ラジオ受信中にMENUボタンを押す。
- 2 DISC/PRESETボタンの+または-を繰り返し押し、[NAME DEL]を選ぶ。



- 3 ENTERボタンを押す。
- 4 DISC/PRESETボタンの+または-を押して消去する放送局名を選ぶ。



- 5 ENTERボタンを2秒以上押し続ける。

選択した放送局名が消去されます。

その他の放送局名を消去するには、手順4~5を繰り返します。

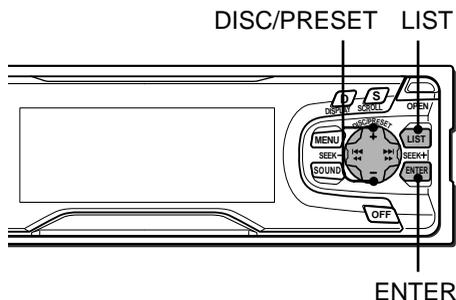
- 6 MENUボタンを2回押す。

通常の画面が表示されます。

放送局を名前で探す

(リスト)

放送局に名前をつけておくと、名前を見ながら放送局を探ることができます。放送局に名前をつけるときは、31ページをご覧ください。



ご注意

ロータリーコマンドー（別売り）では操作できません。

ちょっと一言

選択をキャンセルするにはLISTボタンを押します。

1 ラジオ受信中にLISTボタンを押す。

プリセット局のリストが表示されます。



2 DISC/PRESETボタンの+または-を押して放送局を選ぶ。

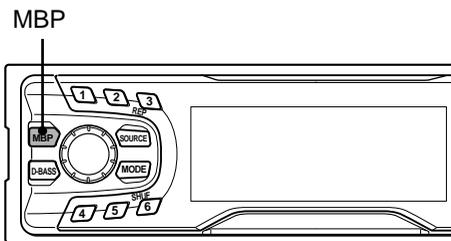
3 ENTERボタンを押す。

選局が終了すると通常の画面が表示されます。

快適な音で聞く (MBP)

MBP (マイベストサウンドポジション) 機能を使うと、1人でドライブするときなどに、運転席で快適な音空間を楽しむことができます。

MBPには2種類の設定があり、左右スピーカーのバランスと前後スピーカーのバランスが異なります。この設定はMBPボタンで簡単に選ぶことができます。



MBPボタンを繰り返し押して、快適な設定を選ぶ。



約1秒後に、通常の画面が表示されます。

MBPボタンを押すごとに、表示は次のように切り換わります。



- 前座席右に快適な音空間 「MBP-A」にする。
- 前座席左に快適な音空間 「MBP-B」にする。

ご注意

- 「音のバランスや音質を設定する」(36ページ)でBAL(左右のバランス)やFAD(前後のバランス)を調節すると、MBPはOFFになります。
- MBPをOFFにすると、BALやFADで設定したバランスになります。

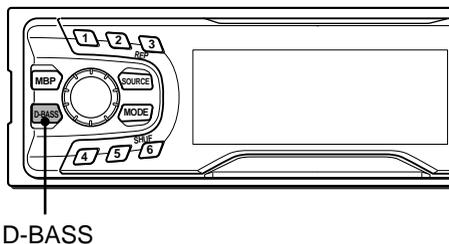
MBPを解除するには

MBPボタンを押して「MBP-OFF」を選びます。

重低音を強調する

(D-BASS)

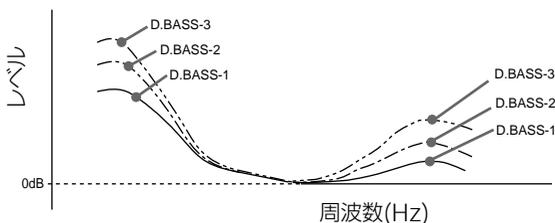
D-BASS (ダイナミックベース) 機能は低音域と高音域をシャープに増幅するため、同じ音量でクリアな力強い低音を楽しめます。



ご注意

音量によっては音が歪むことがあります。このときはD-BASSや音量、音質を聞きやすいように調整してください。

D-BASS曲線



数字が大きいほど低音と高音が強調されます。

D-BASSボタンを繰り返し押して、好みの設定に切り換える。



D-BASSボタンを押すごとに、表示は次のように切り換わります。

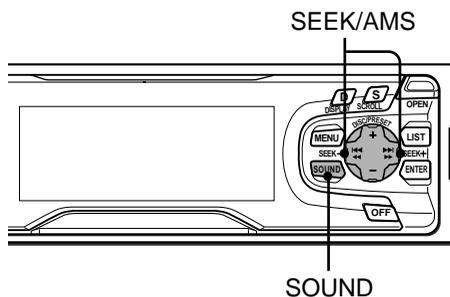


D-BASSを解除するには

D-BASSボタンを押して「D.BASS-OFF」選びます。

音のバランスや音質を設定する

(バランス) (バス) (トレブル)
(フェダー) (ATT)
(ソースサウンドメモリー)



ご注意

BAL, FADはソースごとに設定することはできません。

ちょっと一言

- SOUNDボタンを押すごとに
BAS → TRE → BAL →
FAD → 通常画面 → BAS
と切り換わります。
- 3秒以上ボタン操作をしないと、通常の画面に戻ります。

出力バランス／音質を調節する

BAL (左右) FAD (前後) のスピーカー出力のバランスを調節することができ、BAS (低音) TRE (高音) はソースごとに調節することができます。

1 設定するソース (CD、MD、ラジオなど) を再生／受信する。

2 SOUNDボタンを繰り返し押して、「BAL」、
「BAS」、「TRE」または、「FAD」にする。

バランス (BAL) の設定表示



3 3秒以内にSEEK/AMSボタンの+または-を押して設定を調節する。

約3秒後に、通常の画面が表示されます。

ちょっと一言

- ロータリーコマンダー（別売り）のATTボタンでも操作できます。
- 本機のナビ用ATT入力端子とソニー製カーナビシステムとを接続していると、カーナビシステムの設定により、音声案内時、自動的にカーステレオの音量が下がります。（ナビATT機能）

音量を瞬時に小さくする

カードリモコン（別売り）のATTボタンを押す。

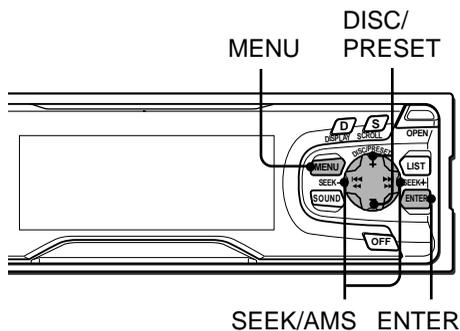
「ATT-ON」と表示され、自動的に音量を下げます。

もとの音量に戻すには、ATTボタンをもう一度押します。「ATT-OFF」と表示され、もとの音量に戻ります。

ソースごとに音響効果を記憶する

本機ではソース（FM、AM、CD、MD）ごとにD-BASSやBAS、TREの設定を自動的に記憶しています（ソースサウンドメモリー）。それぞれのソースに合わせた最適な音質で再生することができます。

音や表示などの 設定を換える



設定の種類	設定内容
「CLOCK」	時計の設定。(15ページ)
「BEEP」	操作ボタンを押したときの「ピッ」という音をON/OFFする。
「RM」	ロータリーコマンドーのつまみの操作方向を切り換える。 「NORM」 → 初期設定の回転方向。 「REV」 → 運転席の右側に取り付けたときの回転方向。
「D.INFO」	時計を表示させる。
「M.DSPL」	モーションディスプレイの設定をする。 「1」 → 本機の電源ON時にデコレーションラインを表示し、電源OFF時にデモディスプレイを表示する。 「2」 → 本機の電源ON時にデコレーションラインを表示し、電源OFF時に時計を表示する。 「OFF」 → 本機の電源ON時にデコレーションラインは表示せず、電源OFF時に時計を表示する。
「A.SCRL」	MDまたはCD TEXT対応のディスク再生時、表示を自動的にスクロールさせる。(19ページ)

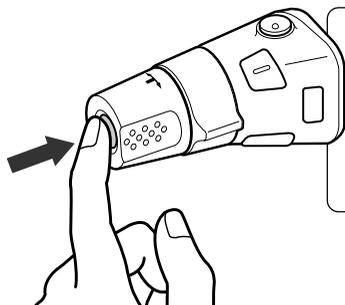
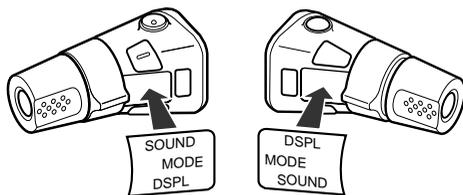
設定を換える

- 1 MENUボタンを押す。
 - 2 DISC/PRESETボタンの+または-を押して設定したい項目を選ぶ。
 - 3 SEEK/AMSボタンの+または-を押して調節したい設定にする。
(例 : 「ON」 または 「OFF」)
 - 4 ENTERボタンを押す。
-

ロータリーコマンダー（別売り）の操作

ロータリーコマンダーのシールについて

本機には、別売りのロータリーコマンダー（RM-X4S）を接続してお使いになれます。ロータリーコマンダーには、ボタン名称のシールが数枚付属されています。本機には図のシールをお使いください。また、ロータリーコマンダーを取り付ける向きに合わせて、シールを貼ってください。

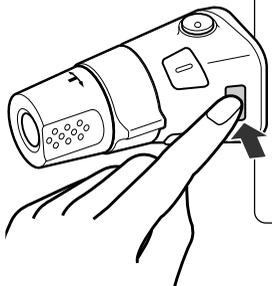


ソース

SOURCEボタンを押すと

本機の電源が入り、繰り返し押すとソースが
TUNER → CD* → MD
と切り換わります。

* 別売りの機器を接続時のみ表示します。

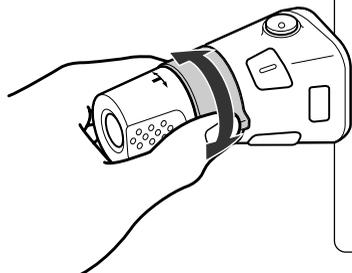


モード

MODEボタンを押すと

ラジオの時：FM1 → FM2 → AM1 → AM2 → ……
CD*の時：CD1 → CD2 → CD3 → ……
MDの時：MD1 → MD2* → MD3* → ……
と切り換わります。

* 別売りの機器を接続時のみ表示します。

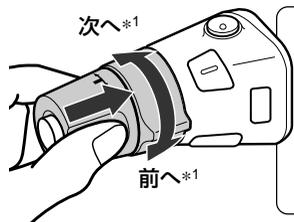


シーク/エーエムエス

SEEK/AMSつまみを短く回して離すと

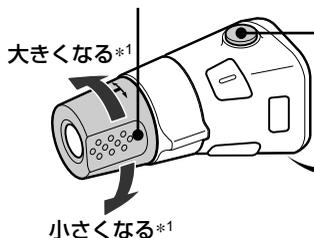
ラジオ ……自動的に放送局を受信する
回し続けると特定の周波数に合わせられます。
CD*/MD ..曲の頭出しをする
回し続けると早送り/早戻しになり、離すと再生に戻ります。

* 別売りの機器が接続されているとき。



ボリューム
VOLつまみを押しながら回すと
 FM/AM 登録した放送局を順に受信する
 CD/MD ディスクを切り換える*2
 表示画面は数秒後にもとに戻ります。

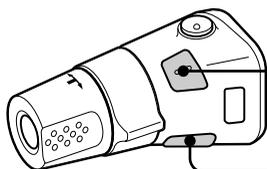
音量を調節する (ボリュームつまみを回す)



音量を瞬時に下げる (ATTボタンを押す)
 解除するにはもう一度押すか、VOLつまみで音量を上げます。

電源を切る (OFFボタンを押す)

- *1 操作方向は初期設定ではハンドルコラムの左側での使用を想定した方向になっています。
- *2 別売りのCD/MDチェンジャーが接続されているとき。



音量調節・音質選択する (SOUNDボタンを押す)
 本体のSOUNDボタンと同じ働きをします。

画面表示を変える (DSPLボタンを押す)
 本体のDISPLAYボタンと同じ働きをします。

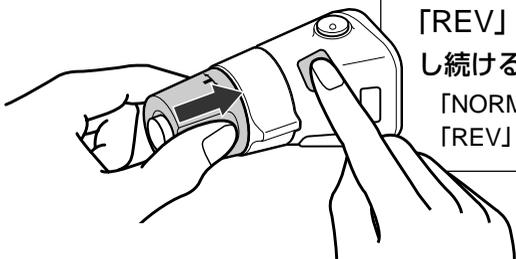
つまみの操作方向を切り換える

運転席の左右どちら側に取り付けるかで、つまみの操作方向を逆に設定できます。

ボリューム
VOLつまみを押しながら、「NORM」または「REV」が表示されるまでSOUNDボタンを押し続ける

「NORM」..... 初期設定の回転方向。

「REV」..... 運転席の右側に取り付けたときの回転方向。

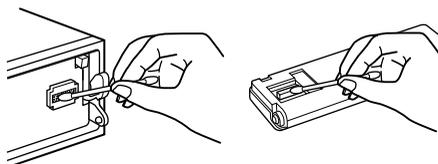


使用上のご注意

本機の取り扱い

コネクターのお手入れについて

フロントパネルおよび本機のコネクターが汚れていると動作不良の原因になります。ときどきクリーニングしてください。



本機側のコネクターを変形させないように注意してください。

液晶表示について

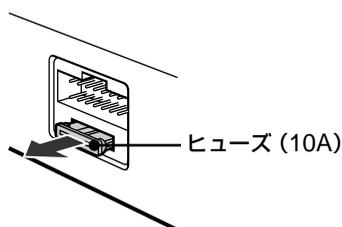
極端な高温または低温のところでは、表示が見づらくなることがありますが、故障ではありません。周囲の温度が常温に戻ると、通常表示に戻ります。

本体の表面を傷めないために

本体表面に殺虫剤やヘアスプレーがかかったり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品が長時間接触しないようにしてください。本体表面が変質、変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

ヒューズについて

ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量（アンペア数）のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。



結露について

寒いときにヒーターをつけた直後など、MDプレーヤー内部の光学系のレンズに露（水滴）が生じることがあります。このような現象を結露といいます。

結露したままですと、レーザーによる読み取りができず、MDプレーヤーが動作しないことがあります。

周囲の状況にもよりますが、ディスクを取り出して放置しておけば、約1時間ほどで結露が取り除かれ、正常に動作するようになります。もし、何時間経過しても正常に動作しない場合はアフターサービスにお申しつけください。

表示窓の結露について

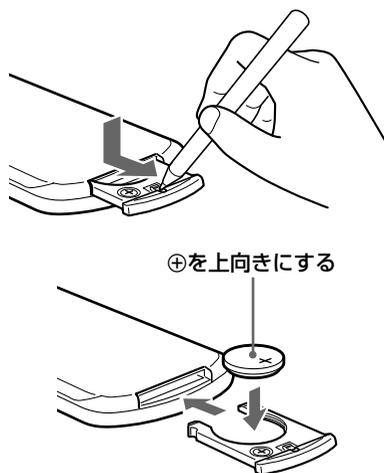
寒いところから暖かいところへ持ち込んだ場合などに、表示窓の内部に露が生じてくることがあります。

このような場合は、しばらく放置しておくことで結露が取り除かれ正常に戻ります。

カードリモコン（別売り）

電池の入れかた

リチウム電池CR2025の⊕と⊖を正しく入れてください。



電池の交換時期

電池が消耗するとボタンを押しても操作できないこともあります。普通の使いかたで約1年もちます（使用方法によっては短くなります）。カードリモコンがまったく動作しない場合は電池を交換し、動作を確認してください。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

警告

- 火の中に入れてない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 電池は充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。
- ボタン型電池を誤って飲み込むことのないよう、電池は特に幼児の手の届かないところに置いてください。
- 万一、電池を飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談してください。

注意

- +と-の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよく拭きとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

カードリモコンについてのご注意

- ダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の当たるところにカードリモコンを取り付けたり放置しないでください。熱によりカードリモコンが変形するおそれがあります。（特に夏期の直射日光の当たるダッシュボードの上はかなりの高温になりますのでご注意ください。）
- 直射日光の当たるところに駐車するときは、カードリモコンを取り付け場所から外し、グローブボックスの中など直射日光の当たらないところに保管してください。
- 直射日光下ではカードリモコンの信号が受信されにくくなることがあります。このようなときは、フロントパネルの受光部にカードリモコンを近づけて操作してください。

故障かな？

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。テクニカルインフォメーションセンター、お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

症状	原因・処置
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">• 音量を上げてください。• ATT機能を解除してください。• スピーカー接続時、スピーカー出力の設定が正しくない。 → 2スピーカーで聞くときは、スピーカーバランスをフロント、あるいはリア側にしてください。• 別売りのMDLP未対応のMDチェンジャー（MDX-65など）で長時間録音のMDを再生している。曲名表示に「LP： _ _ _ 」と出ている。 別売りのMDLP未対応MDチェンジャーでは長時間録音のMDは再生できません。（2001年12月現在） → 本機またはソニー製MDLP対応機器で再生してください。
メモリーの内容が消えてしまった。	<ul style="list-style-type: none">• リセットボタンを押した。• バッテリー用電源コードまたはバッテリーを外した。• 電源コードが正しく接続されていない。
共通 ボタンを押したときの「ピッ」という音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">• 「ピッ」という音が出ない設定になっている。 → BEEPの設定（38～39ページ）を「ON」にしてください。• 内蔵アンプを使用せず、別売りのアンプを接続した場合は「ピッ」という音は出ません。
なにも表示されない。	<ul style="list-style-type: none">• OFFボタンを2秒以上押し時計表示を消した状態にしている。 → もう一度OFFボタンを2秒以上押し続けて、時計表示を出してください。• フロントパネルおよび本体のコネクターが汚れている。 → コネクター部をクリーニングする。（42ページ）
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none">• 電源コードが正しく接続されていない。• イグニッションキーにACCポジションがない車に取り付けている。 → SOURCEボタンを押すかディスクを挿入して電源を入れてください。

症状	原因・処置	
勝手に「ATT」表示が出て音量が下がる。	<ul style="list-style-type: none"> • 本機のナビ用ATT入力コードとソニー製カーナビシステムのATT出力コードが接続されていると、カーナビシステムの設定により、音声案内中「ATT」表示が出て音量が下がります。 • 本機のナビ用ATT入力コードの先端部分が車の金属部にショートしている。 → コードの先端部分を絶縁テープ等でショートしないように保護してください。 	
ノイズが出る。	アンテナコード、バスケーブル、RCAピンコードおよび電源コードなどの各コードは、できるだけ離して取り付け、配置してください。	
共通	電源がOFFにならない。	イグニッションキーにACCポジションがない車に取り付けている。 → OFFボタンを2秒以上押し続けてください。
	オートアンテナが上らない。	リレー内蔵のオートアンテナに接続していない。
	ボタンを押しても動作しない。	リセットボタンを押してください。
	ロータリーコマンダー（別売り）で操作できない。	ロータリーコマンダーの接続コードが本機のリモート入力端子にしっかり接続されていない。または接続コードがはさみ込まれている。
「-----」表示が消えない。	「NAMEEDIT」（名前入力）モードに入った。 → LISTボタンを2秒以上押し続けてください。	
CD/MD	ディスクが入らない。 ディスクを入れてもすぐに出てくる。	<ul style="list-style-type: none"> • すでに別のディスクが入っている。 • ディスクを誤った向きに入れようとしている。 → ラベル（レーベル）面を上にして入れてください。
	音がとぶ。 音が途切れる。 音が割れる。	<ul style="list-style-type: none"> • CDが汚れている。 → ディスクをクリーニングしてください。 • ディスクが傷ついている。 • 本機の取り付け角度が30°を越えている。 • 本機またはチェンジャーが正しく固定されていない。 • MDではごくまれに録音機と本機との互換性により音がとぶことがあります。この場合、録音機のメーカー名と機種名をご確認のうえ、お近くのソニーサービス窓口へご相談ください。

故障かな?(つづき)

	症状	原因・処置
CD/MD	CD-RまたはCD-RWが再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> 再生しようとしているCD-RまたはCD-RWがオーディオ用フォーマットになっていない。 ディスクの記録状態などが良くない。
	MDが再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> 何も録音されていないMDが入っている。 →録音済みのMDに入れ換えてください。 長時間録音されたMDをMDLP未対応のMDチェンジャーで再生している。 →本機またはソニー製MDLP対応機器で再生してください。
	ディスクが自動的にイジェクトされる。	<p>本機の内部温度が50°C以上になった。 →常温に戻ってから再生してください。</p>
ラジオ	受信できない、雑音しか出ない。	<ul style="list-style-type: none"> パワーアンテナコントロールコード(青色)または、アクセサリ電源(赤色)を、純正アンテナブースターの電源供給コード(車両側)に接続してください。(リアまたは、サイドガラスに内蔵しているプリント線状のFM/AMアンテナの場合のみ。)くわしくは、お買い上げ店にご相談ください。 カーアンテナとの接続を確認してください。 オートアンテナが上がっていない。 →パワーアンテナコントロールリードの接続を確認してください。 周波数を確認してください。 IF機能が「WIDE」になっている。 →「AUTO」にしてください(29ページ)。
	SEEK/AMSボタンを押しても聞きたい放送局で止まらない。	<ul style="list-style-type: none"> 「LOCAL-ON」に設定している場合は電波の強い周波数のみ受信します。 →「LOCAL-OFF」にしてください。(28ページ) 電波が弱くて自動選局できない。 →SEEK/AMSボタンを押し続けて周波数を合わせてください。
サウンド設定	ステレオ放送が聞きにくい。「ST」表示が点滅する。	<ul style="list-style-type: none"> 周波数を確認してください。 電波が弱い。 →モノラルモードに設定してください。(29ページ)
	音がでない、または音が小さい。	<p>バランス・フェーダーの調節で特定のスピーカーの音量が小さくなった。 →「音のバランスや音質を設定する」(36ページ)で調節してください。</p>

CD/MDのエラー表示

CD機器やMD機器が誤動作すると、アラーム音が鳴り、エラー表示が5秒間点滅します。

エラー表示	原因	処置
BLANK	MDに何も録音されていない。	ほかのMDに入れ換える。
	ディスクが裏返しになっている。	ディスクを正しく入れ直す。
ERROR	CDが汚れている。	CDをクリーニングする。
	ディスクが何らかの原因で再生しない。	ほかのディスクに入れ換える。
HI TEMP	周囲の温度が50°C以上になった。	50°C以下に下がってから再生する。
NO DISC	チェンジャーにディスクが入っていない。	ディスクを入れる。
NO MAG	CD機器にディスクマガジンが入っていない。	ディスクマガジンにディスクを入れ、CD機器に入れる。
NOTREADY	MDチェンジャーのフタが開いている。あるいはディスクが正しく入っていない。	ディスクを正しく入れ直し、フタを閉める。
RESET	何らかの原因で動作しない。	本機のリセットボタンを押す。

保証書とアフターサービス

保証書（別に添付）

保証書は、所定事項の記入をお確かめのうえ、お買い上げ店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

修理を依頼される前に「故障かな？」の項目に従って、故障かどうかをお調べください。直らないときは、テクニカルインフォメーションセンター、お買い上げ店、またはお近くのサービス窓口（別紙）にご相談ください。

保証期間中

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

保証期間を過ぎたら

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間

この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

主な仕様

MDプレーヤー部

SN比	90dB
周波数特性	10~20,000Hz
ワウフラッター	測定限界以下

チューナー部

FM

受信周波数	76~90MHz (テレビ1~3ch)
中間周波数	10.7MHz/450kHz
実用感度	8dB
周波数特性	30~15,000Hz
実効選択度	75dB (400kHz)
SN比	66dB (ステレオ) 72dB (モノラル)
ひずみ率 (1kHz)	0.6% (ステレオ) 0.3% (モノラル)

AM

受信周波数	522~1,629kHz
中間周波数	10.7MHz/450kHz
実用感度	30 μ V

アンプ部

適合インピーダンス	4~8 Ω
最大出力	50W \times 4 (4 Ω 負荷1kHz)

電源部、その他

電源	DC12Vカーバッテリー (マイナスアース)
出力端子	フロント音声出力端子、 リア音声出力端子、 アンプコントロール、 アンテナコントロール
入力端子	バス音声入力端子、 バスコントロール入力端子、 リモートコントロール入力端子、 FM/AMアンテナ入力端子 (Jaso用)、 ATT入力端子 (ナビ用)
トーンコントロール	低音: \pm 9dB (100Hz) 高音: \pm 9dB (10kHz)
本体寸法	約178 \times 50 \times 177mm (幅/高さ/奥行き)
取付寸法	約178 \times 50 \times 161mm (幅/高さ/奥行き)
質量	約1.2kg
付属品	取り付け/接続部品 (一式) 取扱説明書 (一式) ソニーご相談窓口のご案内 (1) 保証書 (1) ケース (1)

主な仕様（つづき）

別売品	MDチェンジャー（6枚） MDX-66XLPなど MG-MSシステムアップ プレーヤー MGS-X1 パワーアンプ XM-405EQXなど ソースセレクター XA-C30 カードリモコン RM-X114 ロータリーコマンドー RM-X4S バスケーブル（RCAピンコード 付属） RC-61（1m）、 RC-62（2m） バス延長コード RC-U305（0.5m） RCAピンコード RC-64（2m）、 RC-65（5m） 電源コード RC-39
-----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

ご注意

本機には別売りのデジタルプリアンプやイコライザーは接続できません。

本機は、「ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品」です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

索引

五十音順

ア行

エラー表示	47
オートスクロール	
.....	19、38~39
音量	10~11

カ行

カスタムファイル	22~26
----------	-------

サ行

スクロール	19、38~39
ステーションメモ	31~32
シャッフル	21
ステレオ放送	29
スピーカーバランス	36
ソースサウンドメモリー	37

タ行

ディスクメモ	22~23
登録	
自動登録	27
ラジオ局	27、30
時計	15、38~39

ナ行

名前	
消去する	23、32
つける	22、31
表示する	
.....	18、26、28、33

ハ行

バランス	36
バンク	24~25
ヒューズ	42
表示窓	
CD/MD	16、18
ラジオ	28
フロントパネル	9
ベストチューニングメモリー	
(BTM)	27
ボタンの音	38~39

マ行

マイベストサウンドポジション	
(MBP)	34
モノラル	29

ラ、ワ行

ラジオ	11、27~33
自動選局	28
登録	27、30
名前で探す	33
名前をつける	31
リスト	26、33
リセット	8
リピート	20
リモコン	
カードリモコン	14、43
ロータリーコマンダー	
.....	40~41

アルファベット順

A.SCRL	19、38~39
ATT	37
BAL (Balance)	36
BANK	24~25
BANK SEL	24
BAS	36
BEEP	38~39
BTM	27
CD/MD	16~26
ディスク名のリスト	26
名前で探す	26
名前を消去する	23
名前をつける	22
CD TEXT	16、18
CLOCK	15、38~39
D-BASS	35
D.INFO	38~39
FAD (Fader)	36
IF AUTO	29
LOCAL	28
MBP	34
MDLP (LP2/LP4)	18
M.DSPL	38~39
MONO	29
NAME DEL	23、32
NAMEEDIT	22、31
REP	20
RM	38~39
SHUF	21
TRE	36

ご案内

ソニーではお客様技術相談窓口として

「テクニカルインフォメーションセンター」

を開設しています。

お使いになってご不明な点、技術的なご質問、故障と思われるときの相談は下記までお問い合わせください。

テクニカルインフォメーションセンター

電話：048-794-5194

受付時間：月～金 9:00～18:00

(祝日、年末年始、弊社休日を除く)

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型名
- 故障状態：できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日

ソニー株式会社

〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

● ナビダイヤル…………… 0570-00-3311

(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)

● 携帯電話・PHSでのご利用は… 03-5448-3311

● Fax…………… 0466-31-2595

受付時間：月～金 9:00～20:00、土・日・祝日 9:00～17:00

<http://www.sony.co.jp/>

Sony Corporation Printed in Thailand